

■ 一般目標 (GIO)

将来、歯科衛生士として国民の健康に関わるにあたり、必要な歯科保健・医療における倫理について理解する。

■ 到達目標 (SBOs)

医療者の義務と裁量権について概説できる。
 インフォームド・コンセントについて説明できる。
 患者の自己決定権について概説できる。
 生命と医療の倫理的関連事項について挙げるができる。

■ 教科書：1 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学（医歯薬出版）
 2 プリント配布

■ 参考書：1 スタンダード社会歯科学 第8版(学建書院)

■ 授業時間： 木曜日 9：00～9：50

■ オフィスアワー：上原 任 月曜日 17：00～18：00 (uehara.tamotsu@nihon-u.ac.jp)

■ 授業の方法：プリント，教科書をもとに講義を中心とした授業を行なう。

■ 準備学習・ 講義項目の学修目的・到達目標についての予習(30分)と復習(60分)を行うこと。

■ 成績評価方法：定期試験(80%)と課題・レポート・授業中への参加状況(20%)で評価する。

■ 注意事項：教科書は随時参照すること。医療と倫理に関する記事・報道などに、関心を持っておくこと。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 10月5日 上原 任	10. 医療者の義務と裁量権 1) 歯科衛生士の業務	・ 歯科衛生士の業務内容を説明できる。
第2回 10月12日 上原 任	10. 医療従事者の義務と裁量権 2) 医療者の義務	・ 歯科衛生士を含む医療従事者に課された義務について説明できる。
第3回 10月19日 上原 任	10. 医療従事者の義務と裁量権 3) 医療者の裁量権	・ 医療従事者の裁量権について説明できる。
第4回 10月26日 上原 任	11. インフォームドコンセントの詳細 1) インフォームドコンセントの例外 2) インフォームドチョイス	・ インフォームドコンセントの例外的運用について説明できる。 ・ インフォームドチョイスについて説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	(教1) pp. 32-42	
第5回 11月2日 上原 任	11. インフォームド コンセントの詳細 3) インフォームドア セント 4) セカンドオピニ オン (教1) pp. 32-42	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドアセントについて説明できる。 ・セカンドオピニオンについて説明できる。
第6回 11月9日 上原 任	12. 生命の問題と倫 理 1) 生命の始まりにお ける倫理 (教1) pp. 16-19	<ul style="list-style-type: none"> ・人工妊娠中絶，生命の選別，受精卵などを使った研究，生殖補助医療，ヒトのクローン，遺伝子操作における倫理的な課題を説明できる。
第7回 11月16日 上原 任	12. 生命の問題と倫 理 2) 生命の終わりにお ける倫理 (教1) pp. 20-25	<ul style="list-style-type: none"> ・患者による生命維持治療の拒否，患者以外のものによる生命維持治療の差し控え，安楽死と尊厳死，脳死における倫理的な課題を説明できる。
第8回 11月30日 上原 任	12. 生命の問題と倫 理 3) 臓器移植 (教1) pp. 26-29	<ul style="list-style-type: none"> ・脳死後・心停止後の臓器提供，生体移植における倫理的な課題を説明できる。
第9回 12月7日 上原 任	12. 生命の問題と倫 理 4) 遺伝子医療 (教1) pp. 26-29	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子診断，遺伝子治療における倫理的な課題を説明できる。
第10回 12月14日 上原 任	12. 生命の問題と倫 理 5) 再生医療 (教1) pp. 26-29	<ul style="list-style-type: none"> ・培養細胞移植，培養組織移植における倫理的な課題を説明できる。
第11回 12月21日 上原 任	13. 地域社会・多様 性と倫理①	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化・男女共同参画，高齢化と医療に関わる倫理的な課題を説明できる。
第12回 1月11日 上原 任	13. 地域社会・多様 性と倫理②	<ul style="list-style-type: none"> ・信仰，異文化，ジェンダーと医療に関わる倫理的な課題を説明できる。
第13回 1月18日 上原 任	14. 情報社会と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の洪水，情報リテラシー・ヘルスリテラシー，ネットワーク社会，情報モラルと医療に関わる倫理的な課題を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第14回 1月25日 上原 任	15. 研究と医療倫理 (教1) pp. 43-51	<ul style="list-style-type: none"> ・研究と医療倫理の関係を説明できる。 ・ヒトを対象とした研究に関わる倫理指針を説明できる。 ・倫理審査について説明できる。 ・利益相反について説明できる。 ・研究への協力依頼について説明できる。
第15回 2月1日 上原 任	16. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回～第14回の授業内容を振り返り理解を深める。